



東筑高等学校 3年生  
ほりうち かさね  
**堀内 花真** さん

博多青松高等学校 通信制  
ともまつ みひろ  
**友松 美尋** さん

福岡県知事  
はっとり せいтарろう  
**服部 誠太郎**

**特集**

**新春 知事対談**



スタンフォード  
県が令和4年3月に開講した「Stanford e-Fukuoka」プログラムに参加した高校生お二人をお迎えし、服部知事とプログラムの感想や将来の夢を語っていただきました。

**Stanford e-Fukuoka とは?**

高校生向けに米国スタンフォード大学がプロデュースする英語による異文化理解教育プログラムを本県仕様にしたもので、在福岡米国領事館の全面的な協力のもとオンラインで開講。令和4年3月から5カ月間、第一期生として県内の高校生30人が参加し、世界トップクラスの講師による講義を受講、参加者同士のディスカッションやプレゼンテーションも行われた。

**プログラムを受講したきっかけ**

**知事:** これからの福岡県の発展を支えるのはやはり「人」です。県は、「次代を担う『人財』の育成」に力を入れています。国際的な金融機関をはじめ、国内外の企業誘致や観光誘客など「世界から選ばれる福岡県」を実現していくためには、異文化を理解し多様な人々と通じ合えるグローバルな人材を育てる必要があります。このため、実践的な語学が学べるこのプ

ログラムを開講しました。お二人はプレゼンテーションで優秀者に選ばれたそうですね。おめでとうございます。お二人がこのプログラムに参加された理由は何ですか。

**友松美尋さん(以下、友松):** 留学や海外とつながりを持つことに興味がありました。このプログラムは、講義がすべて英語で行われ、国際的な知識が学べるところなど、充実した内容が魅力でした。

**堀内花真さん(以下、堀内):** もともと国際的な問題や国際社



「Stanford e-Fukuoka」プログラムを修了した皆さん